



■はじめに

本ドキュメントでは、AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダのファームウェア バージョン 5.4x 以降で、動体検知があった際にメールを任意のアドレスに送信するための設定手順を説明します。

■設定手順

手順 1: AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの設定ページにアクセスする

1. Internet Explorer などの Web ブラウザを起動します。
2. Web ブラウザの URL 入力欄に、お使いの AXIS ネットワークカメラ/ビデオエンコーダの IP アドレスを入力して Enter キーを押します。
3. root ユーザーにてログインします。
4. Live View ページ右上の「Setup」リンクをクリックします。

※以降の設定はこの Setup ページの中で行います。

手順 2 : 動体検知の設定

「Detectors」 - 「Motion Detection」 ページにて、動体検知を設定するウィンドウを作成します。

1. 右のツールバーより「New」ボタンをクリックし、ウィンドウを新規作成します。
ウィンドウの名前は、「Windows Name:」欄を編集することで任意の名前に変更できます。
※初期設定では[0]Default Window
2. ウィンドウの右下をクリックしたままドラッグしたり、ウィンドウタイトルをドラッグし、検知ウィンドウのサイズや位置を調整します。
3. 右のスライダーを使って、Object Size（ウィンドウの大きさに対する検知対象のサイズ）、History（検出 時間）、Sensitivity（感度）を調整します。以下が設定の目安です。

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 8 月現在のものです。



パラメータ	Object size	History	Sensitivity
説明	ウィンドウの大きさに対して、どの程度の変化を検知するかを設定します。	検出時間を設定します	明るさの違いによる感度を設定します。
高レベル(100)	Activityウィンドウの黒いライン(検知ライン)が上に上がり、画面内の大きな変化で検知するようになります。	1回の動きに対して比較的長い時間、動きがあったことを検知し続けます	光に対する反応が敏感になります。普通の背景で色のあるものが検知対象となります。
中レベル(50)	—	—	ある程度大きな輝度の違いが検知に必要になります。
低レベル(0)	Activityウィンドウの黒いライン(検知ライン)が下へ下がり、画面内のわずかな変化でも検知するようになります。	画面内の動きが止まるとすぐに検知なくなります	光に対しての反応が鈍くなり、暗い背景の、非常に明るいものだけが検知の対象となります。

注意：

- ・ ネットワークカメラの画像を回転させて表示した場合、モーション 検知ウィンドウは回転しないまま表示されますが、検知ウィンドウは被写体に対して、指定した場所通りに動作します。
- ・ モーション 検知ウィンドウの縦横のサイズは 8 ピクセルで割り切れるサイズに自動調整されます。
- ・ モーション 検知ウィンドウを作成する場合は、大きなウィンドウを一つ作成するよりも、小さいウィンドウを複数作成して動きを検出するようにしてください。

4. 設定が完了しましたら「Save」ボタンをクリックし保存します。

手順 3：SMTP サーバの設定

ご利用になる SMTP サーバ(送信メールサーバ)の情報を登録します。

1. 「System Options」-「Network」-「SMTP(email)」を開きます。
2. 「Primary mail server」に、お使いの SMTP サーバのアドレスを入力します。もしも SMTP サーバにアクセスする際、認証が必要な場合は「Use authentication to log in to this server」にチェックを入れ、認証方法やユーザー名、パスワードなどを指定してください。
(詳しくは、お使いのメールサーバの管理者、またはプロバイダにご確認ください。)
3. 「From email address」に、ネットワークカメラから送信されるメールの送信元として表示されるメールアドレスを指定します。
4. 「Send test email to」に送信したい宛先メールアドレスを入力し「Send」をクリックすることでメール送信テストが可能です。
5. 「Save」をクリックし、設定を保存します。

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 8 月現在のものです。

注意：

- ・ SMTP サーバのアドレスを、ホスト名で入力する場合は、「System Options」-「Network」-「TCP/IP」-「Advanced」ページの「DNS Configuration」で、「Primary DNS Server:」欄に、利用可能な DNS サーバの IP アドレスを設定してください。
- ・ Gmail や HotMail などで行われている、SSL (SMTPS) や、POPS を利用した認証はサポートしていません。

手順 4：メールの送信情報を登録する

1. 「Events」 - 「Recipients」を開きます。
2. 「Add」をクリックします。
3. メール送信先に関する情報を登録します。

Name

送信情報の名前を任意で設定します（半角英数）。

Type

Email を選択します。

Email address

送信先の E メールアドレスを入力します。

4. 「Test」をクリックすることでメール送信テストが可能です。
5. 「Save」をクリックし、設定を保存します。

The screenshot shows a 'Recipient Setup' dialog box with the following fields and annotations:

- Name:** A text input field containing 'test'. Red text to the right says '任意の名称（半角英数）' (Arbitrary name in half-width alphanumeric).
- Type:** A dropdown menu with 'Email' selected. Red text to the right says 'Email を選択' (Select Email).
- Email address:** A text input field containing '@axis.com'. Red text to the right says '送信先 Email アドレスを入力' (Enter recipient email address).
- Test:** A section with a 'Test' button. Red text to the right says '送信テストをする場合はクリック' (Click if you want to perform a sending test).
- Buttons for 'OK' and 'Cancel' are at the bottom.

手順 5：アクションルールを設定する

1. 「Events」 - 「Action Rules」を開き、「Add」をクリックします。
2. 「Action Rule Setup」ウインドウで、実行するイベントをルールとして設定します。

Enable rule

本ルールを有効にするにはチェックを入れます。

Name

ルールの名前です。半角英数で任意の名前を設定してください。

Trigger

利用するトリガーを選択します。

「Detectors」、「Motion Detection」と選択し、次に手順 2 で作成したウインドウを選択します。

「Motion:」ラジオボタンにて、動きがあった時をトリガーとする場合「Yes」に、動きが止まった時をトリガーとする場合は「No」にチェックを入れます。

Schedule

24 時間 365 日連続してイベントを実行する場合：

「Always (No Schedule)」を選択します。

スケジュールを利用する場合：

スケジュール名を選択します。

Additional conditions

トリガー条件を追加したい場合にチェックを入れ、トリガー条件を選択します。

イベントを実行した後、再びトリガーを受け付けるまでに待ち時間を設ける場合は「Wait at least xx:xx:xx before re-running the rule」に時間を指定します。

Type

実行するイベントの種類です。通知メールのみを送信する場合「Send Notification」を選択します。

注意：

画像を添付して送信したい場合は「Send Image」を選択し、送信する画像の設定をして下さい。

Actions		
Type:	Send Images	画像を添付する場合は Send Images を選択
Stream profile:	JPEG	ストリームプロファイル
Image frequency:	30 frame(s) per second(s)	フレームレート（秒/分/時）
Duration:	<input type="checkbox"/> Pre-trigger time 1 second(s) <input type="checkbox"/> While the rule is active <input checked="" type="checkbox"/> Post-trigger time 5 second(s) <input checked="" type="checkbox"/> Send only the first 1 images	撮影時間設定
Recipient:	Email	<input type="button" value="New Recipient"/> 送信先を選択
Subject:	Send image test	メールの表題を入力
Additional information:		メールの追加情報
Images per email:	10	画像添付数
*Base file name:	image.jpg	画像ファイル名
	<input checked="" type="radio"/> Add date/time suffix <input type="radio"/> Add sequence number suffix (no maximum value) <input type="radio"/> Add sequence number suffix up to 10 and then start over <input type="radio"/> Overwrite/Use own file format.	ファイル名に付加する文字列

注意：

エンコーダーでビデオチャンネルがある場合は、送信したいビデオソースを選択します。

Actions	
Type:	Send Images
Select video source:	<input type="radio"/> Video 1 <input type="radio"/> Video 2 <input type="radio"/> Video 3 <input type="radio"/> Video 4 <input checked="" type="radio"/> Quad Stream

Recipient

手順 4 で設定した送信先をプルダウンリストから選択します。

Subject

送信するメールの表題を入力します。

Message

送信するメールの内容を入力します。

3. 「OK」をクリックし、設定を保存します。

Action Rule Setup

General

Enable rule イベントを有効にするにはチェック

Name: motion-Email 任意のイベント名称（半角英数）

Condition

Trigger: Detectors トリガーの種類（Detectors を選択）
 Motion Detection Motion Detection を選択
 test 送信先設定を選択
 Motion: Yes No

Schedule: Always (No Schedule) スケジュールの選択（常時の場合は Always を選択）

Additional conditions

Actions

Type: Send Notification アクションの種類（Send Notification を選択）

Recipient: test New Recipient メールの送信先を選択

Subject: test mail メールの表題を入力

Message: This is test mail メールの内容を入力

OK Cancel

設定が完了したら「OK」をクリックし保存します。

登録したイベントは一覧に表示されます。 イベントの有効/無効はチェックボックスで行えます。送信先サーバを登録済の他のサーバへ変更したい場合は Recipient プルダウンメニューから選択してください。

Action Rules

Name	Trigger	Schedule	Action	Recipient
<input checked="" type="checkbox"/> New Rule	Time - Recurrence	-	Send Images	FTP serve

チェックを外すとスケジュールを無効にできます

リストから送信先サーバを変更できます

Add... Copy... Modify... Remove

※記載の内容は予告無く変更することがあります。記載の内容は 2014 年 8 月現在のものです。